

きずな

2007年10月25日

NO 671

赤旗井原出張所

井原市井原町103 (62-6200)

岡山 赤旗まつり

さわやかな秋空のもと2500人が楽しむ

21日の10時から15時過ぎまで、岡山総合グラウンドで「第29回 岡山 赤旗まつり」が開催され、さわやかな秋空のもと、県下各地から2,500人が集い、楽しい一日を過ごしました。中央舞台では「日本の現状と改革の展望」と題しての市田忠義党書記局長の記念講演をはじめ、様々なプログラムが用意されていました。中央舞台周辺では118の模擬店が並び、参加者は、それぞれお気に入りのものを買っていました。井原は焼きたての餃子とビールを販売しました。赤旗まつりの様子を写真でお知らせします。



中林よし子衆院比例
中国ブロック候補



石井ひとみ党県委員長



井原から出演した子ども神楽



元気に餅つき あと即売



中央舞台で記念講演する市田書記局長



来年4月の笠岡市議選候補者として紹介される原田たけし(左から二人目)と同ひのつ倫子(その右)両市議及び同10月の吉備中央町の候補者新谷富彦町議



野菜は大人気

福引で当選
おめでとつ



太鼓で幕開け



美味しいおいなり



読者ニュース「きずな」に対するご意見や情報をしんぶん赤旗の配達・集金者にどしどしお寄せください。

19日に井原市議会臨時会が開かれ、18年度の一般会計と特別会計の決算案件などが提案されました。同日、決算審査特別委員会が設置され、第一回の特別委員会の中で、11月の第一週から週1回審議をし、3回ですべての決算案件の審議を済ますことを決めました。

瀧本市長が議案の提案説明に入る前に、市民病院の不祥事事件に関して報告がありました。次は報告を忠実に再現したものです。
(筆者：こんなことが二度とあってはいけません)

市民病院不祥事事件の経過と 再発防止に向けた全庁的な取り組みについての市長の報告

市民病院不祥事事件のその後の経過についてご説明申し上げたいと思います。去る10月2日逮捕された市民病院元嘱託職員による不祥事事件では、市議会をはじめ市民各位に多大のご迷惑やご心配をおかけし、ここに改めまして深くお詫びを申し上げます。誠に申し訳ございません。

その後の経過についてであります。まず井原警察署には各種資料の提出や聞き取り調査に協力しており、徹底した捜査のもと、全容解明を強く期待するものであります。

また、**市民病院には被害総額の徹底した割り出し作業を指示**してまいったところであります。窃盗の口口が一日の収納額を示す集計レシートをマイナス改ざんし、そのマイナス分の現金を抜き取っていたものであることから、被疑者を嘱託職員として採用した平成16年4月から最終出勤時である本年9月20日までのすべての請求書の控えについて日々の合計額と入金額を照合したところであります。

その結果、平成17年7月から2年3ヶ月にわたり、総額4,223万円の不足が生じていることを確認いたしました。このことにつきましては、去る10月16日に監査委員へ説明し、ご確認いただいたところであります。そうした中で、被疑者からの返済状況についてであります。きょう(19日)現在で全額の返済を受けております。

次に、**今回のような不祥事を起こさないための改善策**についてであります。チェック体制の強化と共に、現金管理では、現金は手元に置かないことを基本に、当日収入金はすべて銀行の夜間金庫を利用することといたしました。

今後に起きましては、病院職員のみならず、職員一人ひとりが今回の不祥事を重く受け止め、改めて公務員としてあるべき姿勢を問い直し、市民への信頼回復を早期に実現できるよう厳しく指導していきたくと考えております。

次に再発防止に向けた全庁的な取り組みについてであります。職員の弛緩に基づく管理体制の甘さがこうした事件を誘発しておりまして、職員の意識感覚を喚起した上で、出納管理システムの強化を徹底させることといたしました。職員に一定の恣意行為もしくは義務違反があった場合には、懲戒免職を含む厳しい処分を持って臨む考えであり、過日全職員に訓令を発したところであります。

また、**出納業務の厳正な処理への取り組み**では、副市長をチーフに「出納業務調査指導班」を9月28日に設置し、毎日金銭授受が発生する14部署について現場調査を行ったところであります。現場調査の中身は、出納業務の開始前から終了後にいたる一貫した現金の管理、確認、引継ぎ、保管の実態調査であり、詳細な業務内容を担当者から聞き取り、現況と改善点を整理したところであります。これに基づき直ちに全部署に現金管理の直接指導を行うと共に、指導、指示者に則した改善に取り組ませました。

